

大会名称: 第73回国民体育大会 バasketボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バasketボール競技会)

開催場所: 福井市体育館 Fコート

試合区分: No. 16 少年男子 1回戦

期 日: 2018(H30)年10月1日(月)

開始時間: 15:15

終了時間: 16:45



主審: 中川 北斗

副審: 浅井 慎太郎

<p>奈良</p> <p>(近畿)</p>	<p>○</p> <p>98</p>	<p>26 — 27</p> <p>23 — 21</p> <p>23 — 14</p> <p>26 — 28</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>90</p>	<p>鹿児島</p> <p>(九州)</p>
------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	-------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	村上 起哉	28	5	4	5	0	6	11
5		大西 一新	8	0	4	0	1	8	1
6		松浦 一平	—	—	—	—	—	—	—
7	*	森田 拓磨	23	0	10	3	3	7	0
8		中村 裕太	2	0	1	0	0	0	3
9	*	宮本 照真	5	0	2	1	2	1	1
10	*	山中 敦	16	0	7	2	3	9	0
11	*	福森 広周	6	0	2	2	1	7	3
12		藤野 雄哉	—	—	—	—	—	—	—
13		森田 大輝	—	—	—	—	—	—	—
14		池澤 悠斗	10	0	3	4	1	4	2
HC		中辻 和宏 / TEAM							
		合計	98	5	33	17	11	42	21

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	小原 優斗	8	0	4	0	2	3	1
5		新留 誠人	11	1	4	0	1	4	3
6		神之門 龍	6	0	3	0	0	0	0
7	*	小竹原 魁斗	10	0	4	2	3	12	3
8		中元 聡師	3	1	0	0	0	0	0
9		喜多 剣士	5	1	1	0	0	0	2
10		末吉 玲	0	0	0	0	1	0	1
11	*	山下 聖	18	2	5	2	3	3	1
12	*	川畑 颯太郎	8	0	4	0	1	2	5
13	*	野口 侑真	19	0	8	3	4	5	1
14		餅原 龍信	2	0	1	0	2	0	1
HC		中島 祐介 / TEAM							
		合計	90	5	34	7	17	29	18

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンス、鹿児島がアリウープで先制。互いに1対1やスクリーンからの合わせ等で点を取り合う。奈良は#4のドライブ、#7のインサイドで鹿児島のファウルを誘う。鹿児島はディフェンスからのブレイクでリズムよく点を取り、残り5分で10点差をつける。奈良は思わずタイムアウト。その後、奈良が#4の3P、#14のドライブで追い上げ、互いに拮抗した戦いが続く。終了間際#4のシュートが決まり、26対27鹿児島1点リードで終了。第2ピリオド、奈良は速いバス回しからのシュート、鹿児島はリバウンドからのブレイクで攻め合う。奈良も#4の3Pが決まり残り6分で33対33の同点。鹿児島は2-3のゾーンディフェンスで突き放しにかかるが、奈良も#7のインサイドで点を取り譲らない。その後も一進一退の攻防が続く。49対48奈良の一点リードで終了。第3ピリオド、奈良はディフェンスからの速攻で連続ゴールを決める。鹿児島は#11、#13のコンビネーションプレイで点を取る。開始5分奈良#10のインサイドでファウルを誘い6点のリードとする。鹿児島も譲らず#6のバスケットボールカウントで一進一退の攻防が続く。残り3分、互いに持ち味を發揮し見応えのある戦いが続く。残り1分、ディフェンスからの速攻と鹿児島のターンオーバーからの得点、プザービータの3Pなどで、奈良が10点のリードを奪う。72対62奈良のリードで終了。第4ピリオド、鹿児島は激しいオールコートディフェンスで6点差まで追いつく。奈良は#7のインサイド、鹿児島は速攻とドライブ、互いに一歩も引かない戦いが続く。残り5分、奈良の6点リードで#14が負傷退場。残り4分、奈良は#7、鹿児島は#13のインサイドの力強い攻めでやり合う。85対80奈良5点のリード。奈良#7がインサイドで体を張る、鹿児島は走って点を取る。残り2分、奈良の6点リードで鹿児島のタイムアウト。激しいオールコートプレスで勝負に出る。#12のドライブが決まり4点差に詰め寄る。奈良は思わずタイムアウト。残り1分、鹿児島の激しいディフェンスにあうも、奈良がフリースローを確実に沈め98対90で逃げ切った。最初から最後まで見応えのある素晴らしいゲームであった。両チームの健闘を称えたい。

担当者: 小林 由美((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

